



今年も冬がやってきました。冬は、身も心も凍えてしまう季節。そんな季節にぴったりの観光スポットを紹介します。みなさんも心温まるイルミネーションを味わってください。 (小五郎)

①神戸ルミナリエとは？

「神戸ルミナリエ」はイタリアのアートディレクター、ヴァレリオ・フェスティ氏と神戸市在住の作品プロデューサー、今岡寛和氏による“光の彫刻作品”です。

阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂の意を持つと共に、街の復興・再生への夢と希望を託され、震災の起こった1995年の12月に初めて開催されました。そして震災で打ちひしがれた神戸の街と市民に大きな感動、勇気、希望を与えました。

閉幕直後から、市民や各界から継続開催を求める強い声が寄せられ、街と市民の希望を象徴する神戸の冬の風物詩となりました。毎年クリスマスシーズンを含む2週間ほどの開催期間に500万人もの人が訪れます。

②ルミナリエの語源

「ルミナリエ」の語源はイタリア語のIlluminazione Per Feste (祝祭のためのイルミネーション)。ルミナリエ作品はヨーロッパ・バロック時代(16世紀後半ルネッサンス末期)に盛んに創られた祭礼・装飾芸術のひとつである、光を駆使した建築物を起源としています。

光のもつ精神的価値と祝祭性を包含し、現在の形態である電気照明を用いた幻想的な光の彫刻として創作されるに至りました。

③ルミナリエの裏話

「ルミナリエ」は、当初東京で開催するイベントとして企画されたものでしたが、阪神・淡路大震災の発生をきっかけに、神戸に開催地を変更し、毎年開催されることになったのです。これには震災で激減した神戸の観光客を呼び戻す目的もありました。

一方東京では、1999年～2005年まで、年末年始のイベントとして「東京ミレナリオ」という光の祭典を行っていました。



©Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C.

◀第十一回のルミナリエの写真。作品名はフロントローネ(光の玄関装飾)で、元町・大丸側にありました。

④これまでのルミナリエのテーマ

第1回 (1995年)	夢と光
第2回 (1996年)	讃歌一輝けるときを求めて
第3回 (1997年)	大地の星たちにささげる
第4回 (1998年)	光の星空
第5回 (1999年)	"pure"な光の下で
第6回 (2000年)	光の永遠
第7回 (2001年)	光の願い
第8回 (2002年)	光のぬくもり
第9回 (2003年)	光の地平線
第10回 (2004年)	神戸、光の都
第11回 (2005年)	光の第二章

⑤今年のテーマ

「空の魅惑」 "L'Incanto del Cielo"

作者からのメッセージ

空を覆う雲の隙間から透過する光の輝き。
蒸気の粒と粒とが、空の扉となり、輝きへと誘っている。
風が、ときの流れとなって、記憶と夢を重ねるとき、
魅惑の空が、
あの日と私たちをつないでくれる。

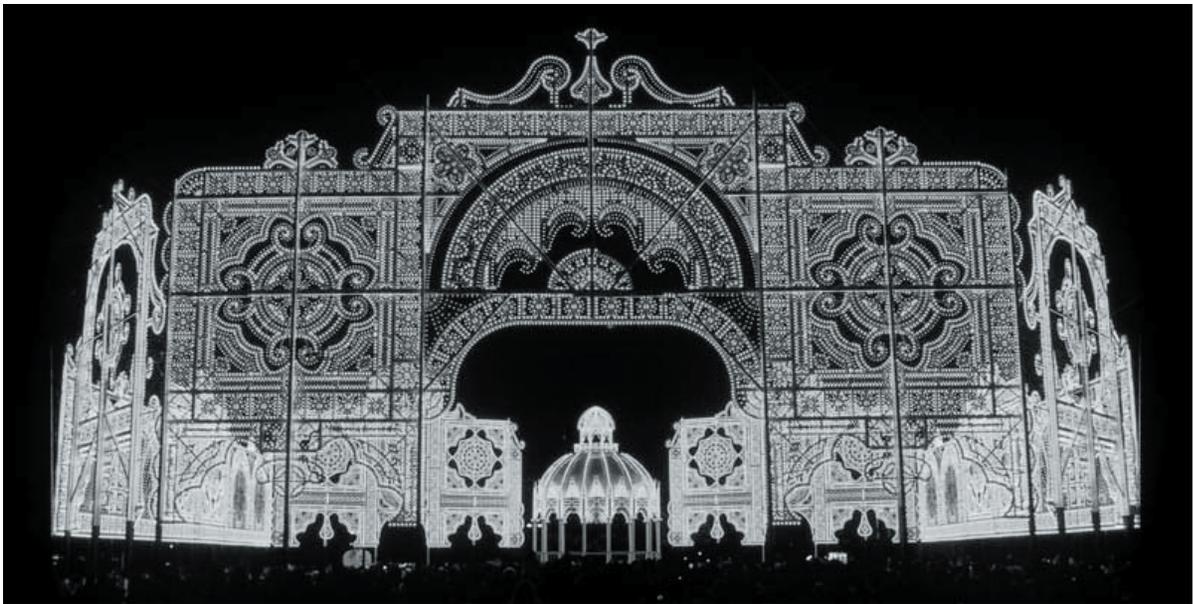
*アートディレクター
ヴァレリオ・フェスティ

*作品プロデューサー
今岡 寛和

はみだし
すてーじ

週2コマも出席しているのに人は私のことをサボリという。
⇒それは間違いなくサボリです。

(経・2 ありんこ)
(週0コマの僕がいうことではありませんが；編)



◀同じく、第十一回の写真。作品名は、スパリエーラ(光の壁掛け)です。東遊園地内にありました。

©Valerio Festi/I&F Inc./Kobe Luminarie O.C.

⑥募金グッズ

神戸ルミナリエでは開催期間中、東遊園地内特設ブースで募金を行っています。

この「神戸ルミナリエ」募金は、ルミナリエを継続していきたいとの趣旨から広く協力を仰いでいるもので開催事業費の一部に充てられています。みなさんもルミナリエにお越しの際は募金してみてもはいかがでしょうか。

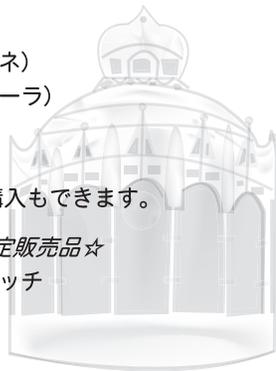
〈グッズの種類〉

- ・キーホルダー
 - ・ボールペン
 - ・ピンバッチ
 - ・ブックマーク (フロントーネ)
 - ・ブックマーク (スパリエーラ)
 - ・ストラップ
- 各500円。

この6品は通信販売での購入もできます。

☆会場限定販売品☆

- ・歴代ブックマーク&ピンバッチ (1995～2005年) 各500円。
- ・ブックマーク (カッサアルモニカ) 700円。ブックマークスタンド付です。



いかがでしたか？ ルミナリエ以外にも、神戸はファッションの街として有名であり、ショッピングなども楽しむことができます。異国情緒あふれる神戸。そんな神戸を照らし出す神戸ルミナリエにぜひ行ってみてください。

～ルミナリエの日程～

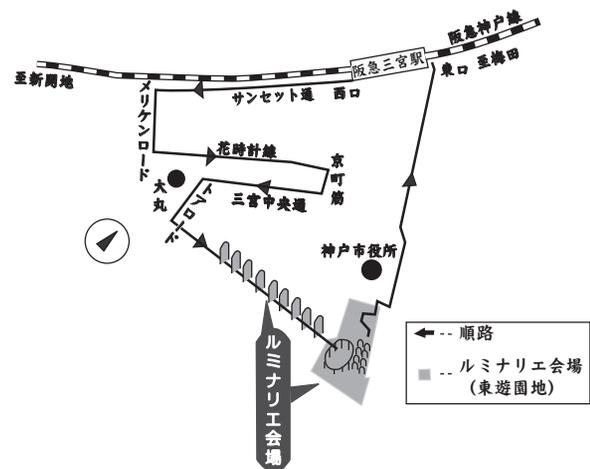
12月8日(金)～12月21日(木)

月～木曜日	18:00頃～21:30
金曜日	18:00頃～22:00
土曜日	17:30頃～22:00
日曜日	17:30頃～21:30

※天候、混雑状況で変更あり

～アクセス～

兵庫県神戸市中央区、旧外国人居留地界隈および東遊園地



神戸までは、阪急河原町駅から特急で阪急十三駅乗り換え、神戸線で阪急三宮駅下車。(運賃600円、所要時間約70分)

はみだし
すてーじ

卒業が見えてきました。
⇒うらやましいかぎりです。

(教・3 回)
(留年が見えてきました；編)